

学校適正規模・適正配置に関する地域意見交換会

日 時	令和5年8月24日(木) 午後7時から午後8時30分	場 所	余目第三まちづくりセンター
出席者	教育委員会	菅原審議会会長、梅木教育委員、太田教育委員、齊藤教育委員 佐藤教育長、佐藤課長、渡部(恵)主査、齋藤指導主事、渡部 (進)係長	
	地域参加者	20名(保護者2名、地域住民12名、その他6名)	
1 開 会	19:00		
2 あいさつ	佐藤教育長		
3 説 明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 審議会の経過と今後のスケジュール</li> <li>・ 児童生徒数推移</li> <li>・ アンケート結果の概要</li> <li>・ 答申案概要</li> <li>・ 学校整備の流れ(案)</li> <li>・ 小学校学区編成についての考え方(案)</li> </ul> (資料に沿って事務局が説明)		
教育長	<p>しばらくの間、意見交換の座長を務めさせていただきます。進行にご協力をお願いします。只今、事務局の方から、児童生徒の減少の課題、学校施設の老朽化の課題などを受けて、20～30年後を見据えてということで、審議会ですべて話されてきた内容の報告と補足の説明がありました。意見交換の進め方として、まず最初に小学校の学校整備について、次に中学校の整備についてと分けて進めていきたいと思っております。なお、ご発言の前に受付で書いていただいたような形で地域名とか、ご自分の立場、氏名を述べてくださるようお願いいたします。例えば、「上朝丸の地域住民、または、保護者の〇〇〇〇です」と発言していただくとありがたいです。</p> <p>それでは、小学校の学校整備について質問ございますでしょうか。</p>		
A	複数学級と複式学級の言葉の意味が分からないので教えてほしい。		
教育長	ありがとうございます。それでは、複数と複式ということで事務局の方で説明をお願いします。		
指導主事	<p>只今質問があった件ですけれども、複数学級というのは同じ学年で2クラス以上あること、複式学級とは二つの学年を合わせて1クラスになるものになります。学級編成の基準ですが国と県で基準を定めておまして、まず、国が定めた基準としては、令和5年度、今年度については、小学校1年生から4年生については35人学級、小学校5年生以上、中学校も含めては40人を1学級としております。ただし、山形県ではサンサンプランということで少人数学級編成を行っていますので、さらに細かい基準になっております。小学校1年生から4年生までは、35人までが1学級、36人から66人までが2学級、67人から99人までが3学級というふうになっております。また、5年生から中学校3年生までは40人までが1学級、41人から66人</p>		

	<p>までが2学級、67人から99人までが3学級、100人から132人までが4学級というふうに、人数によって増えていく形になります。また、複式学級については、小学校の複式学級は、二つの学年の児童数合わせて16人までになった場合は複式学級になります。ただし、小学校1年生が含まれる場合、例えば、1年生と2年生で複式学級になる場合には、1学級が二つの学年で8人までというふうな規定です。中学校の複式学級については、二つの学年の生徒数が8人までというような形になっておりますので、今のところ、この資料に出ている今の学校の中では複式学級とまではならない見込みとなっておりますが、それ以降はわからないところはあります。</p>
教育長	<p>今、詳しく説明あったかと思えますけども、ご理解いただけましたでしょうか。他に質問あったらお願いします。</p>
B	<p>只今丁寧な説明ありがとうございました。納得するような内容ではありましたが、この議論は余目地区では60年前頃にも議論されたものかと思えます。その当時、余目、栄、八栄里、常万、十六合、大和と6つあった小学校を4校にするという課題でありましたが、特に十六合と大和は和合中学校と1本になったわけですけども、余目小学校は大規模だったので、これを3つに分けたという過程もありましたが、その当時、一番議論されたのが、幼稚園と公民館も小学校の地域に建設すると、幼小公一貫教育だと。学校教育と社会教育と一貫した地域教育の役割も果たすのだということが議論されたと聞いております。そんなことで審議会でもこういう経過について議論されたのか。これから新しい庄内町の小学校を特色ある小学校にするためにどのような形が望ましいかということをお聞きしたい。少し当局から説明ありましたが、財政的な問題だろうと思えます。財政はやはり国からの補助金はありますけども、かなり大きな財源が必要な事業になるかと思えます。それと同時にシュミレーションをやったのかどうかということと、もし、新しい小学校、中学校を建てたら跡地をどのように利用するのか、校舎をどのように利用するのか、そういった議論もなされたかどうかということをお聞きしたいと思います。</p>
教育長	<p>はい、ありがとうございます。それでは事務局、説明の方をお願いします。</p>
教育課長	<p>今回の、一小、二小、三小を一緒の学校にすると、また、60年前の学校の姿に戻るわけですけども、今回、同じように幼稚園も同じ学区にあるわけです。この幼稚園をどうするのかということと一緒に議論しないのかという話にはなったんですけども、一緒に議論してしまうとなかなか結論が出ないということがございまして、とりあえず小学校、中学校を先に議論しようとして、そこで結論が出た場合に自ずと幼稚園の方向性も出てくるだろうということで、今回一緒の議論はしなかったところです。また、公民館についても同じような形で、小学校が仮に統合した場合でも、今のまちづくりの単位は当面継続していただくということで担当課からも聞いておりましたので、そこは議論は一緒にしない。あくまでも小学校、中学校だけで議論を進めていくということで話し合われたところです。審議会では、意見が出たところ</p>

	<p>もありますが、深くは話し合われなかったという状況です。二つ目の財政的なシュミレーションについてですけれども、これが審議会としての正式な答申ではありませんので詳しくは財政的なシュミレーションをしておりません。学校を造る場合、およそこのくらいかかるだろう、それから国の補助金はこのくらい見込まれるだろう、起債としてこのくらいかかるのではないかというようなことくらいしかやっております。具体的に財政担当係とは話をしていないという状況です。それから、跡地利用についてどうするかということですが、あくまでも審議会の中では、学校統合をどうするかということを中心に考えていただきましたので、そこまで余力がないと申しますか、時間がなかったので、具体的な意見は出てこなかったというところではあります。</p>
教育長	<p>只今の説明で、ご理解いただけましたでしょうか。</p>
C	<p>只今の質問に関連するわけですが、現在第三学区のまちづくりの運営の方に関わっております。今現在、町の企画情報課の方からまちづくりのビジョンづくりということで、各学区で行っております。その学区割の大元になるのが小学校です。小学校の学区割に基づいて、各地域のビジョンづくりを発しているわけです。これから5年後、それからそれ以上を見据えて、この地域をどのような姿がいいのかということについて議論している真っ最中です。それが、このことに当然関わってくることで、例えば、地域のまちづくりと小学校の在り方の議論を避けているというニュアンスの説明がありました。将来的にまちづくりを考えていく場合、庄内町として避けては通れない課題であると捉えています。学校が老朽化しているから、生徒数が減っているからということで、物理的に合理的に考えてこちらの方が得であろうかというふうな議論であれば速やかに進行するんでしょうけれども、まちづくりという視点で捉えて、人口減少だとか、活性化だとか総合的に見ていくと一緒の議論としてやるべきではないのかなと思っております。小学校の編成についての考え方のパターンの説明がありましたけれども、これとまちづくりをドッキングしていきますと自ずと考え方が固まってくるのではないかなという気はします。例えば、一小、二小、三小をまずはスタートさせると。その後、四小、立小はどうするのかという議論にもっていくと、また、生徒数が減って、何年後かに分校化するとか、また、別の議論が出てくるのかと思うので、スタート時点で全体を考えてパターン化するのではなくて、こういう方がいいんじゃないかと議論を進めた方がやりやすいのかなと思っております。</p>
教育長	<p>はい、ありがとうございます。ご意見も含まれていたかと思いますが、事務局、お願いします。</p>
教育課長	<p>ご意見、どうもありがとうございます。資料5にありますとおり、学校を統合すると決めてもすぐに統合できるわけではないということをご理解いただけたのかなと思っております。その辺も含めまして、まちづくりの担当課の方と丁寧な打合せ等はさせていただきたいと思っております。まずは、ご意見ということでお伺いさせていただきます。</p>

教育長	他に質問ございますか。
D	私は庄内町に来てまだ2年半経っていませんが、いろいろな課題を抱えているんだなと思いました。 <a href="#">資料2</a> の一番下の※印に通常学級とありますが、この通常学級とはどういうことを言っているのか、例えば、国の施策では、これからインクルシブ教育に向かうと言ってますので、多様性の時代でもありますから、手のかかる、時間のかかる子どももいれば、どんどん進んでいく子どももいますので、そういった子どもを含めたうえで、全体に見たうえでの通常学級といっているのかお聞きしたいと思います。
教育長	通常学級について、事務局お願いします。
指導主事	ここで言う通常学級は、今の制度でということですので、特別支援学級以外の子どもたちが所属する学級になります。まず、インクルシブ教育と言われていることもありますし、特別支援学級の子どもたち、また、通常学級の子どもたちにとってもいろいろな子ども同士のかかわりが大事だと思っているので、現時点でも特別支援学級に在籍する児童生徒についても交流授業という形で一緒に授業を受けたり、発達段階に応じて一緒に活動を取り入れているということになります。
教育長	ご理解いただけましたでしょうか。
D	なかなか難しい問題だなと思ったんですが、親目線から見れば、さまざまな個性の子どもがいる中で、みんなが一緒に学校にしてほしいなという気持ちがあります。ただ、県としては、教育的な目標がそれぞれあるとは思いますが、どうしても支援が必要な子もいますので、親としてみれば普通の子と一緒に学ばせたいという気持ちがあったりとか、いろいろありますので、そういった方の意見も取り入れて進めているのかどうか。
教育長	特別支援学級と通常学級との関りということで、文科省からもあるわけですので、そちらの方お願いします。
指導主事	通常学級に所属するか、特別支援学級に所属するか、あるいは、特別支援学校というのがありますので、どこに在籍するかによって、その子の特性を見ながらどの場で学ぶことが、その子の成長にとって一番いいかということを保護者の方と話し合いながら決めていきます。毎年、教育支援委員会というのが町で開かれておりまして、その子の検査結果とかいろいろ様子などを踏まえて、特別支援学校が適正なのか、特別支援学級がいいのか、通常学級がいいのかという判断をお医者さんなど専門家を交えて会議で判断はしております。ただし、その判断はあるんですけども、最終的には保護者の方がどこで学ばせたいかということで決めさせていただいております。特別支援学級の方が一人の児童生徒あたりの先生の数が多いものですから、一斉指導では難しい時にその子のペースで学習できたりとか、個別で学習したりという組み方もできるものですから、そういったことも情報として提示しながらそれぞれメリット、デメリットもありますので、それらを十分説明したうえで、見学などもさせていただいて、今のところは進めているところになります。
教育長	他に質問ございますか。

E	<p>最初にこの小学校の再編の話があったときは、パターン3かなと思ったんです。そうなったときに今中学校の学区は、一小、二小、三小、四小は余目中学校になっていますが、そこが変わるという認識でよいか。スクールバスの通学時間が長くなってしまいう課題としてあると思います。大学の時、宮城で心理学の研究をしていたんですけども、不登校児童の改善がなかなか難しいと。朝もスクールバスで45分から1時間かけて、東日本の大震災のあった後に、沿岸部から仙台市に通う子が不登校になると、本当に改善が難しい。朝早く家を出て、そのスクールバスに乗れなかったときにお家の人も送り迎えが容易ではないとなったときに、カウンセラーでは難しいという話を聞いていました。今、スクールバスがなくなるということでトイレの問題も挙げられるんですけども、それを聞いた時に「えっ、そうなの」と思いました。今考えれば、なかなか思い浮かばないようなパターンがあるんだろうなと思ったのが一つ。そこで気になったのが、魅力ある学校づくり、そこまでして行きたい学校とはどういう形なのかなというのを今どんなふう考えているのかなということが気になりました。先日、致道館高校の説明会に行かせてもらったんですけども、酒田市の方から説明を聞きに来る親がいるんです。中学校で酒田から鶴岡まで通う、それだけの魅力がきっとあの学校にはあるのかなというふうに聞いていました。そんなことを考えると通学時間が長くなってもそれでも通いたくなる学校ってあるんだろうなと思って、その辺をどのように計画しているのかなということを聴きたいです。</p>
教育長	<p>ありがとうございます。それでは、事務局お願いします。</p>
教育総務係長	<p>一つ目の質問で、パターン3の場合は中学校はどうなるのかということでしたが、審議会では、今後中学校は1校ということが望ましいとしておりますので、パターン3の場合でも中学校としては、その一つになった学校に通うことになるかと考えています。</p>
学校教育係長	<p>スクールバスの乗車時間が長くなることについてどう考えているのかという質問がありました。確かに、一番遠いところといいますと立谷沢の方から通う子どもが一番長い時間乗車することになります。学校が一つになって余目地区に通うことを想定した場合は、立谷沢の一番奥の方、瀬場の方から来ると考えますと45分程度と想定はしておりますが、運行のやり方、今ですと立谷沢から清川、狩川ということで地区を経由してくるわけですが、最短で、一番近いところを直接送迎するなどして方法を変えることで、若干ではありますが短くできるのではないかとその辺も工夫をして考えていきたいと思っております。</p>
教育総務係長	<p>魅力ある学校とはどんな学校かということですが、審議会の中では、環境設備が整ったところという話が出ています。現在の先進地を参考にICTなど近代的な設備を整えるというというような話が出ております。</p>
教育長	<p>ご理解いただけましたでしょうか。他にご質問ございますか。ないようですので、質問を打ち切らせていただいてよろしいでしょうか。それでは、小学校の整備については、審議会の方針としまして、児童数の減少や校舎の老朽</p>

	<p>化を考慮すると、只今、ご質問の中にもありましたが、余目一小、二小、三小は一つの学校として優先的に整備することが望ましいということと、また、将来的には庄内町の小学校は一つになるにしても段階的な移行が必要であるということ。特に余目第四小学校と立川小学校については、地域とのつながりや歴史的背景を考慮すると地域や保護者の方の合意形成のもと、より丁寧に進める必要があるのではないかという意見がでております。これにつきまして、皆さまからご意見をいただきたいと思います。資料4、<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">8ページ</span>の学校整備にあたっての審議会意見につきましても、ご意見をいただきたいと思います。</p>
F	<p>中学校と小学校を比べた場合、中学校の方が近々な問題ではないかと思っています。もうすぐ、立中と余中を早く統合しないと今の立川中学校の生徒たちが健全な教育環境に置かれなくなるのではないかと、適正な規模でないのではないかと思っています。中学校を先に進めないといけないというのが現状だと思います。その後小学校が出てきますので、そうすると役場の方でもスケジュールの試算がありましたけども、中学校が出来て、それから小学校にかかるとなると、ずうっと後になるわけです。そうすると、その頃にはどういう世の中になっているかということ、あと1校にするしかなくなるんじゃないか、今議論が始まって、それでも10年以上かかるわけです。それで、なんだかんだ言って、中学校が出来た、じゃあ小学校をやるかという頃には1校にするしかなくなるのではないかというのが現実ではないかと思っています。なので、中学校を先にして、小学校をすとなったら、今から最初から小学校は1校にするような話の進め方でないと、2度、3度、今、2校にすると決めたら、いざ統合する頃には、また、1校にしないといけないというような議論が始まると思うので、今からのタイムスケジュールを考えれば1校ということで議論すべきではないかと思う。</p>
教育長	<p>小学校についてのご意見ということで、そこに大きく関連するのは中学校だということでご意見があったかと思っています。事務局の方お願いします。</p>
教育課長	<p>ご意見ありがとうございます。審議会の話し合いの中では、小学校、中学校、どちらを先にするかについては、具体的な意見は出ておりませんでしたので、只今のご意見を次回審議会の方にこのような話が出たということで話をさせていただきたいと思います。小学校につきましては、今、生まれた子どもが入る令和11年度までの規模しかわかりませんので、その後どうなるのか予想もつかないところもありますので、答申としては、例えば、1校ないし2校となっているが、ご意見としては最初から1校とした方がいいのではないかということでしたけれども、状況によっては今おしゃったように、子ども数を実際見たうえでの判断になるのかというふうに思ったところです。ご意見として伺いさせていただきます。</p>
教育長	<p>審議会の方にお伝えするということでしたがよろしいでしょうか。他に小学校についてのご意見、お願いします。</p>
E	<p>小学校を1校しようとか、まとめて新築するという話だったかと思うんです</p>

	<p>けど、山形市の千歳小学校を新しく校舎を建てたとき、その周りにもともと住宅はあまりなかったのに、分譲が進んで児童数が増え、たしか今年度から教室が足りないという見込みがあったかと思うんですが、教員つながりで話を聞いていて、そんなことも起こるだなどと思っていたんですけども、庄内町でも小学校を新しく建てると聞いたときに、そういう児童数の増加もあるのかなと思っていて、この間、家族で小学校が減るかもしれないんだってという話をしたときに、「今、四小の近くに新しい家がどんどん建っているじゃん、あの辺は子どもの人数が増えていかないの」という話がでました。これから、人口増加させていきたいのが庄内町の考えだと思うんですけども、そうなったときに一つにするというのが、そういう人口増加にも影響してくるのかなと思ったところです。もう一つが、庄内町は教育にお金をかけていると思うんです。庄内で勤務している同期の話を聞いても、比べては何ですが、私が30人みているよりも、10何人を見る方がずっと手をかけられるし、私、鶴岡で特別支援コーディネーターをしています。庄内町からはたくさんのお金が出ていてすごくありがたいんだということも耳にしています。庄内町生まれとしては鼻が高い思いなんですけども、これが1校になったときに、今の庄内町の教育の良さは保たれるのかなと気になっています。中学校だけでもなかなか恵まれた設備があったと思うんですけども、小学校も同じ程度のものが維持できるのかなど、その辺り、今のところどんなふうになっていく予定でしょうか。</p>
教育長	<p>ありがとうございます。それでは、事務局の方お願いします。</p>
教育課長	<p>一点目の今後人口が増加していった場合、教室が足りなくなることもあるのではないかとということも考えて造った方がいいという。</p>
E	<p>そんな可能性も考えると教育委員会だけでできる話ではないのかなとしたりして、どこに建てるか一つで人口推移にも影響してくることを考えると、教育関係の方だけで話し合うのではなくて、町としてどういう開発をしていきたいのかということも併せて造ったりもできるのかなと思ったところです。</p>
教育課長	<p>ご意見ありがとうございます。三つの小学校を統合した方がいいという意見が出ております。これを考えた場合、それぞれの学校を使って新たな学校を造れるかということで検討してみましたけども、児童数が大きくなるので、教室の数が増える、校舎が大きくなっていく、そうすると今の敷地ではどここの学校でも建てられないだろうなと思っております。どこかの場所に新たに学校を造っていくしかないだろうなと考えているところですが、審議会での考え方がまとまったのは、ごく最近ですので、どの辺に建てるかなどということは、その辺のところまでは絞り込んでもいない状況ですので、その辺、ご意見ということで今後の進め方に活かさせていただきたいと思います。それから、学校数が少なくなった場合、教育予算が保たれるのかということでしたけども、教育委員会は予算を自ら作って確保していくということができませんので、その辺は町当局と相談しながら教育にかけるお金は十分</p>

	確保していきたいと思っています。
教育長	只今の説明でよろしいでしょうか。他に小学校についてのご意見ありますか。
D	やっとならコロナ禍が改善して、さまざま参加するようになったと思うんですが、私の希望なんですけども、新しく学校を建てるのであれば、一つとして1年生から6年生までがオープンルームで給食が食べられるような大きなスペースを造ってほしいと思っています。小さい子から大きい子までみんなが共有できるお互いが面倒見合えるオープンルームは必ず必要だと思います。いろんな子がいますが、登校班で一緒に行くのも大事ですし、学校として、小さい子の面倒をみるというのも大事だと思うので、私としては、みんなが給食が食べられるような大きなオープンルームを確保して欲しいなという希望です。もう一つ、戸沢村の方では、義務教育学校というようなことが新聞によく載っています。すごく魅力的だなと思ったのが大林素子さんというバレーボールの選手のような有名な方を呼んで、スポーツ選手とかそういった方を学校に呼んでもらえるというか、そういったことをできれば、これから未来のある子どもたちのためには、そういったいろんな方の話を聞くとか来てもらうとか、私も高校生のおきには、西ドイツの高校生との交流会がありました。県の代表としてそのような交流会をもたせていただきました。県の代表としていろいろな経験をさせていただいたこともありますので、是非、義務教育学校として子どもたちのためにいろんな教育施設、質の高い教育が魅力ある学校になると思いますのでそういったことも含めて検討してもらいたい。
教育長	学校整備についてのご意見だったと思います。事務局、お願いします。
教育課長	給食用のオープンルームということでご意見いただきました。どのような学校を造っていくかという議論が全然始まっていませんので、審議会の方でいろんな学校を造るうえでのご意見をいただきたいと思っていますので、次回の審議会の中で、こういう意見もあったということでご紹介させていただきたいと思っています。また、義務教育学校につきましては、検討の中で8ページ目の中段のところに義務教育学校についても検討した経過はありますが、将来的なことを考えて難しいだろうということで、義務教育学校につきましてはあきらめたところはありませんけども、質の高い教育、この辺につきましては義務教育学校に限らず、庄内町として目指していきたいと思っていますので、その辺は将来に渡って教育委員会がしっかりやっていきたいと思っています。
教育長	よろしいでしょうか。他に小学校についてのご意見ありませんか。
G	生徒が通いたくなるような魅力的な学校ということで近代的な学校ということがありました。例えば、近代的な学校とはどういう学校をいうのか教えてください。
教育長	はい、ありがとうございます。審議会の中で話し合われた内容について事務局お願いします。



教育課長	あくまでも審議会の中で出てきた意見ということで紹介させていただきま すけども、最近 ICT 化が進んでおります。その辺の設備が充実した学校とい うことで、最近タブレットを使った授業等もいろいろありますので、学校の どこに行ってもタブレットが使える、情報の引き出しとか印刷とかできるよ うな、ICT 化が進んだ学校、これを重点的に整備してはどうかという意見が 出たということはありません。それ以外には、魅力的な学校ということで、 運動設備、遊具とか充実したものが欲しいというような、近代的というこ とではないですけども、充実した設備ということでそのような意見が出ていま した。議論の途中ですので、魅力的な学校については今後いろいろな意見が出 てくるものと思っています。
教育長	そういうことで、現段階で答えられる範囲内ということで説明させていただ きました。その他、小学校へのご意見ありますか。
A	一昨年と昨年とまちづくりの方のかかわりをしてまして、これからの地域と はなんだろう。今までの一とか、二とか、三とか、四とか、立川とか、地域 がナンバーで学区が区別されていましてけども、パターン 2 とかパターン 3 になったときに、こうなったときどういうふうな、近代的な学校というこ とで出てきましたけども、私がまちづくりをやっていた反省としてですね、庄 内町でも立谷沢の方とか町場とか、三小学区にしても町中と在の方というの があるんですよ。どのパターンになるにしろ近代的な設備を造ったり使った りするのでもいいんですけど、地域として助け合いができる、そういう魅力、 人が優しいんだなというような学校を造ってほしいなと思います。
教育長	ありがとうございます。「教育は人なり」という言葉もありますけども、人づ くりということでのご意見だったと思います。事務局いかがでしょうか。
教育課長	教育長、答弁のとおりだと思います。教育委員会としまして、そういうと ころにも重点的に力が入られるように教育目標を考えていきたいと思いま す。
教育長	他に小学校へのご意見ありませんか。それでは、ここで小学校へのご意見は 切らせていただいてよろしいでしょうか。続きまして、中学校の学校整備に ついて移ります。中学校についての質問を受けたいと思います。ないようで しますので、ご意見の方に移らせていただきます。それでは、中学校の整備に ついて、審議会の考え方としては、中学校は 1 校とするとしたうえで、理想と しては、立川地域、余目地域両地域の生徒、保護者の負担を軽減するために 中間的な場所に新たに校舎を建設することが望ましいが、現余目中学校の施 設の大きさ、統合した場合のスクールバスの必要台数、既存社会教育施設の 利用のしやすさや将来的な小学校建設などの財政負担などから総合的に判 断して既存の余目中学校校舎を長寿命化改修し使用することが望ましいと いう方針（案）になりました。そうした際は、立川地域の生徒、保護者の負 担を少しでも軽減できるような最大限の配慮が必要だということも出てお ります。具体的には、先ほど説明があった内容になりますが、 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">資料 4</span> 8 ペ ージに記載してある学校整備にあたってのご意見も含め、皆さまからご意見を

	頂戴したいと思います。いかがでしょうか
H	うちの子もたちが自立性の調節障がいがあったこともあって、御殿町、余中に近いといえば近いんですけども学校に通えずにほぼ中学校が終わってしまいました。今は何とか体調も整って、高校なり専門学校に通っていたりするのですが、出来れば学校の設備を整えるにあたって、ICTの活用ということもありましたが、リモート授業を充実させていただけないかと思います。家においてベットから出られない状態だったものですから、タブレットで授業の内容を見るだけでも違うし、学校というところから離れてしまうということで、病状が回復しても戻りずらかったりして、ホットルームに通っているお子さんたちが多かったです。うちの子ももそうだったものから、できればそういう感じで整えてもらいたいと思っています。もう一つですね、スクールバスの弊害として運行することは問題ないですが、東部中学校とかもそうなんですけども、ものすごく学区が広いので、バスに乗り遅れると学校に行けないんですね。親御さんがどうしても共働きであったり、おじいちゃん、おばあちゃんが近くにいなかったりすると、朝は具合が悪くて行けなかったけど昼近くになったら行けるようになったときに学校に行けない。そういうとき、うちの子たちも困りまして、介護タクシーみたいなものがあればなと思ったので、遠い地域の子もたちとか、具合の悪い子たちに対して、町として学校に来やすいような仕組みを一緒に作っていただけると、1時間でもいいから行きたいということで、学校離れの防止につながったり、子どもたちの意力向上にもつながるのではないかなと思いましたので、意見の一つとして取り入れていただければと思います。
教育長	ありがとうございます。大きく二つだったと思います。学校に通いたくなるというのは、施設面だけでなくということで私も理解できるなと思います。実際タブレットで現在リモートでやっている子も現状ありますけども、その辺今ご意見ありましたので、事務よろしくお願いします。
指導主事	貴重なご意見ありがとうございました。まず、どの子も、どこであっても、通いたくなるようなことを考えながら進めていきたいと思っています。まず、リモート学習については、一人一台タブレットが導入されて数年経ちまして、現在既に不登校児童生徒に対して教室で行っている授業を配信するという形でリモートで授業を受けている子どもがいる状況です。また、余目中学校の中に適応指導教室、ホットルームがありますけども、そこでもリモートなら授業が受けられそうということで、同じ学校内ですがリモートで授業を受けている子どももいます。やはり、学校の様子が分かったり、学習面で不安が解消されるということが、その後の状況の改善とか気持ちのところにつながっていきますので、そういったところは今後も進めていきたいと思っています。
学校教育係長	スクールバスでの通学時間が長くなるということは、審議会の中でも意見と

	して出されていまして。こちらとしましても、今町で所有しているバスが何台かあります。大きなバスから小型のバスまで種類もありますけれども、例えば、コンパクトなバスを何台か所有をしてきめ細やかに運行するとか、いろいろ方法はあるのかなと思っていますし、保護者の方、そして、子どもさんにもなるべく負担のかからない運行、学校への行き方というのを検討していければと思っています。ご意見として伺いたいと思います。
教育課長	今の説明に補足させていただきます。現在、立川の立谷沢地域は現在もバスで小学校、中学校に通っていますけれども、仮に統合した場合にも現在の乗っている時間よりは早い時間にはバスに乗らないような配慮が必要だというようなご意見もいただいておりますので、その解決策の一つとしては、経路地を少なくすれば、なるべく早く学校にたどり着ける、もしくは、時間がかかるようであれば学校の始業時間を遅らせるというような方法も考えて、遠いところから来る子どもたちの負担は軽くしようというようなご意見をいただいております。その辺は考えなければいけないのかなと思っています。それと、朝のバスに乗れなかった場合の配慮ということでしたけれども、その辺も今後、何らかの方法が必要なのかなと思いますので、検討していかなければいけないので、ご意見としてお伺いさせていただきます。
教育長	中学校に関して、ご意見ありませんか。
F	中学校ですけれども、私は、立川中、余目中を一年でも早く統合すべきだと思います。というのは、立川中学校、今、100人弱です。一クラス30人いないわけです。男と女を分けると10何人ずつ、ということで何もできないわけです。体育の時間といってもバスケットか6人制バレーしかできない。部活もなにできるかといえどできない。生徒数が少なくなって、クラス数が少なくなると必然的に先生の数も少なくなります。そうすると、いろんなところの授業とかそういう面で支障がでてきます。なもんですから、子どもたちがこのままでいいのか、クラスが少なくていいのか、やはり、余中と早く統合して、私に言わせれば、普通の中学校生活を送れるような教育環境を作らなければならないのではと思っています。それから、今、立川地区では幼稚園、年中、年長、それから小学校6年生、中学校3年生、11年間、ずっと同じクラスです。同じ人とばかり付き合っているわけです。高校に行くと戸惑うのは立中の子どもたちです。そういうことも考えると、私から言わせれば、中学校の統合については、今頃話をしているのは遅いという感じだと思います。なので、一日も早く一つの中学校にすべきだと思います。
教育長	ありがとうございます。今年度、立川中学校の1年生が資料にあるとおり、18名、2年生が40名、3年生が35名の全校生徒で93名です。私が立川中に勤務していたときには、3年生だけが二クラスで、あと1年、2年が一クラスで122名でした。2年目から全部一クラスになって99名でした。只今のご意見一理あるなという思いもあります。それでは、事務局いかがでしょうか。
教育課長	ご意見ありがとうございます。好きな部活動ができない。先生の数が少ない

	<p>というようなデメリットがあるので、統合すべきだということにつきましては、審議会からもご意見いただいているところです。できるだけ早くというご意見でしたので、この辺も審議会に伝えながら、小学校、中学校どちらを先に手を付けるべきなのか、その辺も総合的に判断してご意見をまとめていただけたらと思っています。</p>
教育長	<p>他に中学校に関してご意見ありませんか。それでは、全体を通しまして何かございませんでしょうか。それでは、他にないようですので意見交換を終わらせていただきたいと思いますと思いますが、よろしいでしょうか。進行にご協力いただきましてどうもありがとうございました。</p>
5 その他	なし
6 閉 会	20:30